

▶ OPINION

観光先進国の実現に向けて ～通訳案内士制度の観点から～

<通訳案内士制度見直しの経緯>

現在、通訳案内士法では、報酬を得て、外国人に付き添い、外国語を用いて旅行に関する案内を行うことを業とするには通訳案内士資格が必要とされています（業務独占）。しかしながら、訪日外国人旅行者の急増に伴い、通訳案内士の絶対数の不足に加え、大都市部への偏在、英語への偏りがあり、訪日外国人旅行者の多様化するニーズに対応できていない状況にあります。

昨年の訪日外国人旅行者数は過去最高の約 2,000 万人に達し、「観光」を地方創生の切り札、成長戦略の柱として我が国の基幹産業へと成長させ、「観光先進国」という新たな挑戦に踏み切るべく、政府は今年 3 月に「明日の日本を支える観光ビジョン」（以下、観光ビジョン）を策定し、訪日外国人旅行者を 2020 年に 4,000 万人、2030 年に 6,000 万人へ増加させ、質の高い観光交流を加速させることを目標として打ち出しました。観光ビジョンにおいて、通訳案内士制度については、「一定の品質確保を前提に、「業務独占規制」の見直しを含め、サービスの供給拡大措置を構築」とされており、政府の規制改革会議の中でも審議が行われ、「規制改革実施計画」（平成 28 年 6 月 2 日閣議決定）においては、「訪日外国人旅行者の増加とニーズの多様化に対応するため、通訳案内士の業務独占規制を廃止し、名称独占のみ存続する」とされ、「平成 28 年度中に法案提出」することとされています。

上記閣議決定を踏まえ、通訳案内士の業務独占を廃止し、名称独占のみ存続することとし、通訳案内の業務に通訳案内士以外の主体も参画して多様なニーズに臨機応変かつ的確に対応できるよう、観光先進国として質の高い観光交流を実現するために必要な制度設計を現在進めているところです。

<真に世界へ開かれた国の実現に向けて>

名称独占とすることにより、通訳案内士やそれに類似した名称を使わなければ、通訳案内士以外の者でも通訳案内サービスを有償で行うことができるようになります。つまり、添乗員の方も有償で通訳案内を行うことが可能になりますが、逆に言えば、それは対価に見合うだけのサービスが求められることも意味しています。

通訳案内士は国家資格保有者として、訪日外国人旅行者に満足度の高い解説・案内を行うことができる者として位置づけを明確化する予定ですが、それ以外の資格を持たない者については、国が制度的に品質を担保するのは難しいものと考えております。観光ビジョンに掲げた訪日外国人旅行者数目標の達成には、リピーターの増加が必要であり、そのためには高品質な通訳案内サービスの供給と利用拡大を進めていくことが不可欠ですが、通訳案内士だけでは急増する訪日外国人旅行者と多様化するニーズに対応することは困難であり、法改正後の非有資格者の品質の底上げを行うことが「観光先進国」を目指す我が国にとって重要なことであると考えます。

今後、貴協会が試行的に取り組みされているインバウンド対応に関する研修等も本格的に実施していただき、会員以外の一般にも広く窓口を開放することで、観光ビジョンが目指す「全国津々浦々その土地ごとに、日常的に外国人旅行者をもてなし、我が国を舞台とした活発な異文化交流が育まれる、真に世界へ開かれた国」の実現に向けて大きな力となっていただくよう、大いに期待しております。

観光庁 観光資源課長
蔵持 京治 氏



CONTENTS

OPINION ————— 1

観光先進国の実現に向けて
～通訳案内士制度の観点から～
観光庁 観光資源課長
蔵持 京治 氏

特集 ————— 2

“Tour Conductor of the Year 2016”
表彰式及び、「職業フェア」を開催

TOP INTERVIEW ————— 4

株式会社 ジャルパック 代表取締役社長
藤田 克己氏をお訪ねして

TCSA REPORT ————— 6

トルコ大使館が TCSA 事務局に来訪
新職員三浦雅文参事からのメッセージ

TCSA REPORT ————— 7

添乗あれこれ～添乗の現場から～第12回
2000日添乗員のゴツゴツ奮闘記56

TCSA だより ————— 8

「インバウンド業務検定」トライアル試験を実施します！
運輸局長表彰
会員動向 編集後記

特集!

“Tour Conductor of the Year 2016” 表彰式及び、「職業フェア」を開催

東京ビッグサイトで9月23日(金)に開催された、Tourism EXPO 東第1ホールBステージで、今年も「表彰式」を開催しました。来賓として祝辞をいただいた観光庁・加藤庸之観光地域振興部長をはじめ、吉村作治選考委員長、南砂読売新聞取締役本部長、KNT CT ホールディングス(株)戸川和良代表取締役社長・JATA 副会長、清水誠中村学園名誉教授に壇上出席を頂き、100名以上の関係者が会場をうめ尽し、盛大裡に開催されました。

当日、吉村作治選考委員長も「今年は事故や事件に巻き込まれ奮闘した点が評価され受賞するというよりも、平常時の添乗スキルや姿勢・職業人としての取り組みなどが評価の対象となったところが、職業表彰として喜ばしいことだ」と講評をされました。尚、今年は冒頭山田会長から当日参加された優秀賞受賞の紹介もいたしました。

表彰状と副賞が授与されたステージで受賞者はその喜びを語り、会場からは満場の拍手が送られました。

今年は11社から19名のツアーコンダクターの方々が推薦されました。

グランプリとして、国土交通大臣賞を受賞した清水大徳さんは大学や高校で旅についての講演を通して、添乗の魅力や海外旅行の醍醐味を得意な「絵」を使って説明し、話を聞いた学生の中には旅行業界に関心を持った学生も少なくありません。

準グランプリを受賞した久野明美さんは添乗歴20年のベテラン添乗員としてANAセールスの高額商品に数多く添乗し、新コースの提案や改編に尽力しています。また、商品説明会での巧みなプレゼンテーションにより、成約率を高めている

点等が評価され観光庁長官賞を受賞しました。

吉村作治選考委員長賞を受賞した吉見梓さんは超大型チャータークルーズ添乗の統括として、50名の添乗員のマネージメントを行うかたわら、「寄港地レクチャー」「船上ラジオ体操」等、添乗員主導のイベントを積極的に行い、お客様からも高い評価をいただきました。また、クルーズ添乗の実践的マニュアルを作成し、後進の育成にも大きく貢献しています。

日本添乗サービス協会会長賞を受賞した山本慎さんは、3年連続して海外ツアーを企画し、帰国後にお客様に届くようにツアー中に絵葉書を書いて送るなど、きめ細かな対応がお客様にも喜ばれ、リピーターを増やしています。また、「巡礼」のスペシャリストとして国内旅行の商品造成から手配までも担当しています。



グランプリ受賞
清水大徳氏



観光庁観光地域振興部長
加藤庸之氏



選考委員長
吉村作治氏



表彰式全体写真

上段左から（選考委員）

- 南 砂氏 読売新聞東京本社 取締役調査研究本部長
- 吉村作治氏 選考委員長 早稲田大学名誉教授 エジプト考古学者
- 加藤庸之氏 観光庁 観光地域振興部長
- 山田隆英氏 TCSA 会長
- 戸川和良氏 KNT-CT ホールディングス（株）代表取締役社長
- 清水 誠氏 中村学園大学短期大学部 名誉教授

下段左から（受賞者）

- 水谷留美子氏 優秀賞（株）ジャッツ所属
- 土井敏央氏 優秀賞（株）J&Jヒューマンソリューションズ 所属
- 船津 洋氏 優秀賞（株）読売旅行所属
- 山本 慎氏 会長賞（株）読売旅行所属
- 高伸一郎氏 委員長賞（株）TEI 所属（代理出席）
- 久野明美氏 準グランプリ ANA セールス（株）所属
- 清水大徳氏 グランプリ（株）J&Jヒューマンソリューションズ 所属

| 受賞内容 | 受賞者氏名 | 所属会社 |
|----------------|--------|---------------------|
| グランプリ（国土交通大臣賞） | 清水 大徳 | （株）J&Jヒューマンソリューションズ |
| 準グランプリ（観光庁長官賞） | 久野 明美 | ANA セールス（株） |
| 選考委員会委員長賞 | 吉見 梓 | （株）TEI |
| TCSA会長賞 | 山本 慎 | （株）読売旅行 |
| 優秀賞 | 土井 敏央 | （株）J&Jヒューマンソリューションズ |
| 優秀賞 | 太山 久美子 | （株）J&Jヒューマンソリューションズ |
| 優秀賞 | 水谷 留美子 | （株）ジャッツ |
| 優秀賞 | 船津 洋 | （株）読売旅行 |
| 優秀賞 | 齋木 勝久 | （株）JTB ワールドバケーションズ |
| 奨励賞 | 穴吹 彰子 | （株）ツーリストエキスパート |
| 奨励賞 | 伊藤 地香 | （株）ツーリストエキスパート |
| 奨励賞 | 村越 美智子 | （株）ツーリストエキスパート |
| 奨励賞 | 太田 保代 | （株）ツーリストエキスパート |
| 奨励賞 | 黒澤 雅美 | （株）ツーリストエキスパート |
| 奨励賞 | 芹沢 夕子 | （株）旅行綜研 |
| 奨励賞 | 山田 早苗 | （株）J&Jヒューマンソリューションズ |
| 奨励賞 | 寺門 大輔 | （株）JTB ワールドバケーションズ |
| 奨励賞 | 浜田 勝 | （株）トップ・スタッフ |
| 奨励賞 | 岩田 さおり | （株）トップ・スタッフ |

～ツアーコンダクター職業フェア～

表彰式に引き続き開催された「T/C 職業フェア」にも、今年3名の受賞者が出席し、「T/C になったきっかけ」、「添乗のよろこび、やりがい、面白さ」などをアピールしました。昨年に引き続き、司会を行った、佐佐木享子さんから、添乗で経験した思い出に残っているエピソードの質問があり、現役の添乗員さんならではの興味深いお話を聞くことができました。日ごろ、旅行参加者の満足度を高めるために緊張感をもって誠意努力を重ねている裏方の添乗員さんが、ステージ上の主役として脚光をあび、笑顔で語る姿は輝きフロアーに参集した学生諸氏にも感銘を与えたに違いありません。



職業フェア風景

株式会社 ジャルパック 代表取締役社長 藤田 克己氏

台風の迫る、8月下旬、東品川のジャルパック本社へ藤田克己代表取締役社長をおたずねしました。

三橋滋子専務理事（以下敬称略）

ベルギーやフランスなどでのテロを大変憂慮致しておりますが、貴社の現状について、まず伺わせていただけますか。

藤田克己代表取締役社長（以下敬称略）

ヨーロッパについては本年4月ごろまで、前年対比7、8割程度で推移してきましたが、ご存知のように7月に入り、バングラデシュ、ニース、ミュンヘンなどでのテロの影響で、予約の受付状況が厳しくなっています。時間が解決してくれるのですが、日本人に人気のロマンチック街道は、どこから入ってもミュンヘンが含まれているので、今回の事件の勃発は本当に残念な思いをしています。但し、ロシア、中央アジア、オセアニア方面などについては、比較的堅調に推移しており、早期の回復を切に願っています。

藤田 苦戦を強いられているヨーロッパ方面についても、ツアーコンダクターが同行するツアーは、ヨーロッパ全体の落ち幅の中ではさほど影響を受けていません。商品造成面については、しっかりと品ぞろえを堅持してゆきたいと考えています。昨今のトレンドとして、ツアー参加のお客様からのビジネスクラス、プレミアムエコノミークラスのご希望がふえています。ヨーロッパツアーでは、シニア層のお客様ま向けに、朝もゆっくり出発、1日のバス移動は350kmまで、また、移動中のトイレ休憩も頻繁に、ゆっくり時間をとる「ゆったり周遊コース」「ゆったり連泊コース」を設定しています。これらのツアーは、ツアーコンダクターの技量に負うところが非常に大きいですね。

この「ゆったりシリーズ」はまず、ヨーロッパ方面で販売を開始しましたが状況を見て、アメリカなど他の方面でも広げてゆきたいと考えています。



マーケットニーズに合った 商品開発

三橋 海外各地で不穏な空気が漂うと、お客様は海外旅行から国内旅行にシフトされますか。

藤田 国内市場も、熊本での大地震の影響もあり、あまり好調とはいえず、政府がバックアップする「復興割」により需要回復も見られますが、全体でいうと厳しいと思います。

三橋 そのような状況の中で、下期に向けてユニークな企画商品など、今後の見通しについてお聞かせいただけますでしょうか。

時間、体力、金銭などに比較的余裕のあるシニア層のお客様に、添乗員が同行することによって安心感を与えられると思います。同グループで、年齢層の幅が広く、若い参加者がいらっしゃると、行動するときのスピードなど全体の行動にバラつきが出て来がちです。そこで、参加者の対象を65歳以上とする企画をJALパックでは初めてヨーロッパツアーに反映させました。他にも添乗員同行コースとして「ひとり参加で楽しむ旅」や、「男性参加者限定のインド・ツアー」、かつて定番であった一度に香港、バンコク、シンガポールを訪れる「アジア周遊コース」など新たな企画にチャレンジしています。

昨年のグラス線の運航開始に伴い、グラス経由のカリブ・中南米方面へのツアーも増やしています。またJALのニューヨーク線が本年11月に就航50周年を迎えるのを機に、ニューヨークにまつわる機内音楽を入れ特別な機内食を提供する計画もされています。

またデビュー50周年を迎える歌手の高橋真梨子さんがカーネギーホールで開催されるコンサートツアーの販売も予定されています。

ツアーコンダクター の人間力に期待

三橋 お話を伺っていて、そんなツアーに参加してみたいと痛感致します。ところで、“JALPAK”のブランド価値を高めるうえで、ツアーコンダクターにはどのような期待をお持ちでいらっしゃいますか。

藤田 一般的に、ツアーコンダクターに求めるものとして、研究熱心であるとか、お客さまとのコミュニケーション能力などがあげられますが、私が個人的に望むとすれば、人間的な魅力です。人間力を磨いて頂いて、お客様との信頼関係をしっかり築いていける方が、優れたツアーコンダクターではないかと思っています。

2010年1月に日本航空は経営破たん後、新しい企業理念を作り、「JAL フィロソフィー」と名付けた40項目の考え方をJALグループ職員全員の共通語として作成し、ツアーコンダクターの方々にも実践していただいています。ツアーコンダクターの方々には、ジャルパックを代表し、業務に就いて頂いているので、私共と同じマインドをもって業務にあたっていただきたいという思いがあります。

“この人と一緒に旅行ができて楽しかった “、とか、”この人と旅行したおかげで、いい思い出が出来た “、

というような期待以上の満足感が与えられるのが理想のツアーコンダクターで、これらを実現するためには、人間力を絶えず磨いていただく努力が必要でしょう。

その考え方のベースを示した「JAL フィロソフィー」という白い手帳をツアーコンダクターの方々も持っています。JALグループで仕事をしている人は、一人一人がジャルパックの看板を背負っているとの認識を持ち、「一人一人がジャルパック」、ツアーコンダクターはそのコンセプトを体現しているのだと思っています。

三橋 最後に私共の協会へのご要望を伺わせて頂けますでしょうか。

藤田 業界としてツアーコンダクターの地位を上げていく努力をして頂きたい。また、人材育成面について、若いツアーコンダクターをどのように育てていくかということも次の課題ではないでしょうか。ベテランの方が、若手をどのように育てていくかが大事なポイントと思われれます。これらの課題を克服し、ツアーコンダクターという職業について、夢と希望を与えられる活動を協会にぜひお願いしたいと思います。

三橋 添乗を専門職とする方々の社会的地位の向上は協会設立の目的の一つでもございましたので、人材の育成につきましては、これからも努力いたしてまいります。本日は貴重なお話をいただき、本当にありがとうございました。今後とも、当協会へのご支援をよろしくお願い申し上げます。



中央ホールに飾られている親しみのある鶴丸ロゴの航空機の前での記念撮影後、ジャルパックを後に致しました。

トルコ大使館が TCSA 事務局に来訪

8月5日(金)、トルコ大使館・文化広報参事官室のアリ・カラクシュ氏およびマーケティング担当の大森正光氏がTCSA事務局に来訪され、7月15日に同国で発生したクーデター未遂事件後の平穏を強調し、日本の旅行業界によるトルコへの送客の回復と、TCSAによる側面支援についての期待も表明されました。

今回のTCSA訪問については、同国のクーデター未遂事件後、ならびに6月28日にイスタンブールのアタテュルク国際空港で発生した自爆テロ事件などに関し、短時間で空港機能を回復していること、また、イスタンブールなどの観光地などについても平穏を取り戻していると強調されました。その状況を踏まえた上で、TCSAにも現状の理解を要請されました。

カラクシュ氏によると、メディアによる報道等は、幾分ネガティブなものが多く、同国として直接TCSA事務局を訪問し、真実を伝えたかったとしています。

トルコには、テーマ性の高い素材が多く存在し、従来から日本を含む全世界から多くの観光客を受け入れてきたことなど、これまでの実績を強調し、日本市場に対しても、今後、年内に3回程度のファムツアーの実施を計画しているようで、観光関係の方々に参加を促したいとしています。さらに、海外旅行に同行される機会の多い日本の添乗員の方々にもファムツアー参加を検討いただければ、現地での観光案内を担当する日本語ガイド関係の団体などカウンターパートとの意見交換会の設定などについて、是非その機会を提供したいとの意欲をしめされました。



新職員三浦雅文参与からのメッセージ

ご縁がありまして、この度、日本添乗サービス協会でお仕事をさせていただくことになりました。

【旅行業界へ】

思い起こせば、私の観光業界との関わりは、1972年に新入社員として旅行会社に就職した当時までさかのぼります。当時、配属された部署では、航空座席の団体予約業務を担当致しました。どうしても確保しなければならぬ座席を、出発前日夕方まで航空会社の予約担当のデスクを訪ねて、座り込んだこともありました。

【インバウンド担当部署へ】

1976年から約4年半の香港勤務を経て1980年、東京のインバウンド部門への転勤でした。要員は18名程度、社内的には中規模の営業支店の一つではありましたが、海外セールス、国内セールス、手配、管理部門など世界を相手にビジネス環境が広がっていました。大型インセンティブツアー、国際会議、全米から500名の代表団参加による文化交流イベント、競馬の「ジャパンカップ」の取り扱いなど、様々な勉強をさせて戴きました。少し珍しい思い出としては、ある商社の方から「東南アジア某国の政界トップの方とそのご家族、および護衛の方々が金沢方面への私的なご旅行を計画中のこと、手伝ってほしい。」との要請を受けました。金沢市内のホテルと和倉温泉の有名旅館Kにお泊りいただきました。お客様の宗教上の理由から、旅館側とは食事関係の対応を中心に事前打合せを致しましたが、悩んだのは「温泉をどのように楽しんでいただくか」ということでした。大浴場貸切りは難しい状況の中で、人前で素肌をさらす習慣がなく、しかもVIPとなれば、護衛の方々による警備は浴室の中まで・・・などと気をもみましたが、大浴場が最もすいている時間帯

は一般のお客様の夕食時間帯であろうということを提案しました。事前に大浴場の下見を行い、護衛の方に守られたVIPのご入浴が始まりました。予想通り、入浴されている一般のお客様にはほとんど会わず、私も大浴場入り口付近で待機しておりましたところ、当のVIPは勇気(?)をもって日本の温泉を満喫され、大浴場から出てこられた時の表情は忘れられません。その後、輪島の朝市、兼六園、加賀友禅のアトリエ、九谷焼の工房なども訪問され、日本の伝統文化にも触れていただき、私も貴重な添乗経験をさせていただきました。

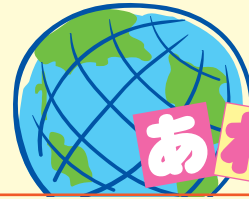
【TCSA 入局】

協会が厚生労働省から受託している「インバウンド人材育成事業」は2年目を迎えています。この事業を推進する上で、私のこれまでの経験を少しでも活かしたいとの思いがあり、その成果が出せれば長年お世話になった旅行業界、観光業界への「恩返し」ができるのではないかと願っています。多くの外国人が、大都市のみならず、地方のより多くの観光地を訪れ、若手からシルバー層に至るインバウンドスタッフの方々が、「おもてなしの心」をもって温かくお出迎えをするイメージが実現できれば、望外の喜びです。今後とも関係各位のご指導、ご助言等よろしく願いいたします。



現場の添乗員が、添乗現場で最近感じることやエピソードを自由に寄稿いただくコーナーです。
 ～添乗の現場から～ 第12回

「感謝」



添乗

あれこれ

「百人乗り車両が16両、最大3～4分に一本。何かあるとすぐ数万人に影響するから、急いで！」そう言って新幹線に無事乗り込むと、外国からのお客様は皆大喜び。“We made it!”そこからは、ワイン、ビール、コーヒーと、車内販売売り切れ続出の、楽しい時間の始まりです♪

バス添乗に始まり、通訳、ガイドと確実にステップアップさせて頂き、先日はバス三台口のチーフガイドとしてツアーを無事終了。新幹線には四回も乗って（一両ほぼ全員イギリス人！）、最初は全員遅れずに乗降出来るか緊張したけれど、三回目位からは皆さんも余裕！グループの連帯感も高まりました。

いつも空港でお別れする時にはハグとキスの嵐で、日本の旅を楽しんで頂いた安堵感とお別れする寂しさに、帰りの電車は不思議な気分。

なんといっても、あらゆるツアー、実は私がいつも一番楽しんでいて、お客様にも「楽しんでるね！」とすっかりバレているほど。お別れする時には、それは寂しさも募ります！

ここまでは一歩ずつ階段を上って着実なステップアップをしているつもりだったけれど、実は素敵なエスカレーターに乗せて頂いて、楽にどんどんスキルを積ませて頂いていました。

思えば、通訳案内士資格を活かすにはどうするのがいいかと説明会で数社のお話を伺った中、「ここが一番私に合っている！」と即座に感じた今の会社と上司。本当に、縁があったんだと思います。

旅行社さんと共に、どちらに対しても感謝をしてもきれません。せめてこれからも、少しでもお客様に楽しんで頂ける様に、私もますます楽しく頑張りますね！

(株) トップ・スタッフ

添乗員：大賀 美也子さん



2000日添乗員のコツコツ奮闘記

連載 56

<「思い出作り」のお手伝い。>

株式会社 J&J ヒューマンソリューションズ

添乗員：稲垣 美穂

「修学旅行の添乗は、お客様にとって、一生に一度の旅。」と、常日頃心掛けています。小学校6年生の日光修学旅行の添乗に同行する事が多く、その中でも印象的な添乗がありました。

車いすの女子児童さんが、足に装具をつけてお母様と一緒に修学旅行に参加していましたが、日光は階段が多く、車いすのスロープが整っていない場所も沢山あり、見学範囲が限られていました。東照宮見学の際も、階段が多く見学するか迷っていたようですが、「鳴き龍」に入って行くお友達を見て、今まで一言も声を出さなかった女子児童さんが、『行きたい!』と訴えました。お母様は日頃の児童さんの介護で腰を痛め、おんぶする事は不可能なため、付き添いの先生と一緒に女子児童さんに諦めるよう説得していました。その会話を聞いていた私は、装具の重さも心配ではありまし

たが、『一生に一度の思い出つくりになれば』という言葉が頭をよぎり、女子児童さんを背負い、いざ鳴き龍の広間へ。カーン!!という拍子木の打った音に相当ビックリしたようで、背負っている私の背中に伝わってきました。

その後、お手紙やお写真を送っていただき、卒業文集の作文には日光修学旅行の思い出として、「添乗員さんに、おんぶしてもらって『鳴き龍』を見た!」のが印象に残っていると、書いてあったそうです。

この、お手紙は、私の大切にしている宝物の1つです。初添乗から18年、添乗日数も2000日を超え、このような宝物の一つ一つが私のモチベーションであり、読むたびに素晴らしい職業に出会えた実感します。



「インバウンド業務検定」トライアル試験を実施します！

前号のTCSA NEWSの特集でもお知らせの通り、TCSAが厚生労働省からの委託を受けて実施している、インバウンドスタッフの育成を目的とした「インバウンド業務検定（仮）」制度の構築について、現在、テキスト・試験問題の作成を行っておりますが、この度、1級及び2級のトライアル試験を下記日程で実施することになりました。

受験申込等、詳細についてはTCSA事務局にお問い合わせください。

1. 日 程：【1級】平成28年11月30日（水）
【2級】平成28年11月25日（金）
2. 場 所：友愛会館（1級、2級とも同会場）
東京都港区芝2-20-12 三田会館9F
3. 定 員：各級とも15名

運輸局長表彰

平成28年度九州運輸局長表彰を下記4名の方が受賞され、10月20日に表彰式が開催されました。受賞おめでとうございます。

【九州運輸局長表彰受賞者】※勤続年数及び日数は2016年9月末現在

山田 慶子さん（株）ツーリストエキスパート所属 21年 3,458日
永田 多美容さん（株）ツーリストエキスパート所属 21年 4,659日
脇 由美子さん（株）ツーリストエキスパート所属 25年 4,266日
椎原 美智子さん（株）ツーリストエキスパート所属 25年 4,523日

また、下記運輸局の局長表彰も現在申請中です。

- ・関東運輸局長表彰：3名
- ・近畿運輸局長表彰：8名

会員動向

●住所変更

（株）ブレインズワン

新住所：〒530-0002 大阪府大阪市北区曾根崎新地1-4-10 銀泉桜橋ビル8階
電話番号：06-6343-8420(変更なし) FAX番号：06-6343-8421(変更なし)

●脱会（正会員）

（株）スタッフリーダー

脱会日：平成28年8月22日
脱会理由：廃業

（株）ボイスエンタープライズ

脱会日：平成28年8月31日
脱会理由：（株）ヒト・コミュニケーションズに吸収合併

○○○○編集後記○○○○

エスコートド・ツアーが主流のヨーロッパ各地でテロが続き、海外添乗を専門としているベテラン添乗員の方々はどのようにして居られるのだろうか、と案じながらTCSA NEWSを編集した。市場回復を願って止まない。(S.M)

一般社団法人 日本添乗サービス協会
〒105-0014 東京都港区芝1-10-11 コスモ金杉橋ビル6階
TEL(03)6435-1508・FAX(03)6435-1509
E-mail tcsa@tcsa.or.jp
URL http://www.tcsa.or.jp/